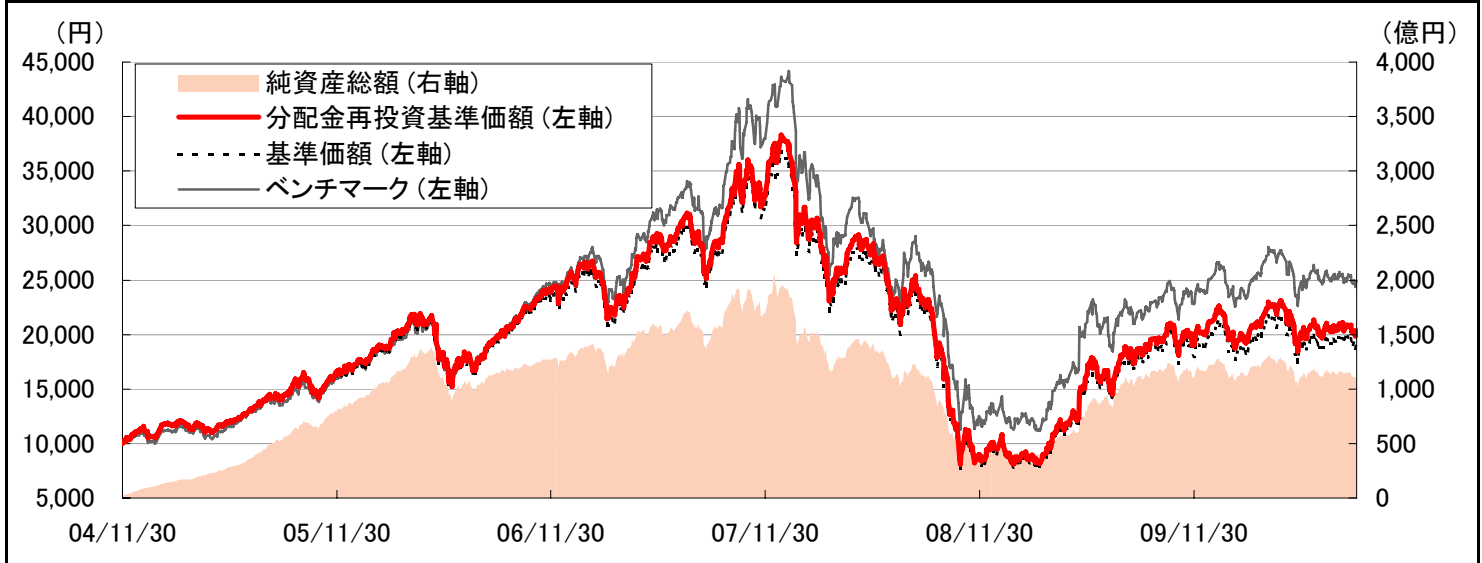


HSBC インドオープン

追加型投信/海外/株式

基準価額と純資産総額の推移



* 基準価額は信託報酬(税込年2.10%)控除後のものです。分配金再投資基準価額は税引前分配金を再投資したものです。将来の分配金の金額は、運用状況によって変化します。ベンチマークは、設定日を10,000として指数化しております。

商品概要

商品分類	追加型投信/海外/株式
設定日	2004年11月30日
信託期間	無期限
決算日	原則、11月29日/年1回決算

信託財産の構成(2010年9月3日現在)

インド市場	41.6%
その他市場	53.7%
キャッシュ等	4.6%
合計	100.0%

* マザーファンドの組入比率です。「その他市場」には各銘柄のADR、GDR、オプション証券等を含みます。表示単位未満を四捨五入しているため、合計が100%にならない場合があります。

基準価額等(2010年9月3日現在)

1万口当たり基準価額(円)	19,224
設定来高値(2007年12月27日)	36,756
設定来安値(2009年1月26日)	7,774
純資産総額(億円)	1,117.6

* 基準価額は信託報酬控除後のものです。

税引前分配金の推移(1万口当たり)

決算期	分配金(円)
第1期(05年11月29日)	300
第2期(06年11月29日)	300
第3期(07年11月29日)	300
第4期(08年12月1日)	0
第5期(09年11月30日)	300
-	-
-	-
-	-
-	-
-	-
-	-
-	-
-	-
-	-
設定来累計	1,200

* 将来の分配金は運用状況によって変化します。

期間別騰落率(税引前)

	ファンド	ベンチマーク
前週末比	0.8%	0.9%
1ヶ月	-2.4%	-2.5%
3ヶ月	0.9%	0.4%
6ヶ月	2.9%	3.9%
12ヶ月	12.4%	16.5%
36ヶ月	-27.6%	-19.6%
設定来	103.6%	149.1%

* 基準価額の騰落率は税引前分配金を再投資したものとして計算しています。騰落率の計算期間は、1ヶ月、3ヶ月、6ヶ月、12ヶ月、36ヶ月前の応答日(応答日が休業日の場合はその前営業日)から基準日までの期間としています。

設定・運用:HSBC投信株式会社

投資信託の基準価額は、組入れた証券の値動き(外国証券の場合は更に為替相場の変動)等の影響により上下しますので、これにより投資元本を割り込むおそれがあります。当資料のお取扱い、投資信託のお申込みについては、当資料内「当ファンドの主なリスク」、「留意点」、「当ファンドにかかる費用」等、および「投資信託説明書(交付目論見書)」を必ずご覧ください。



Global Asset Management

HSBC インドオープン

追加型投信/海外/株式

組入上位銘柄と対純資産組入比率(2010年9月3日現在)

順位	銘柄名	業種	比率
1	HCLテクノロジー	ソフトウェア・サービス	8.1%
2	ケアン・エナジー	エネルギー	7.1%
3	マルチ・スズキ・インド	自動車・自動車部品	6.9%
4	ジンダル・スティール&パワー	素材	6.1%
5	ユニテック	不動産	6.1%
6	インドステイト銀行	銀行	5.6%
7	ユナイテッド・スピリッツ	食品・飲料・タバコ	3.4%
8	バルティ・エアテル	電気通信サービス	3.1%
9	インドリアルブルズ・リアルエステート	不動産	3.0%
10	ドクター・レッドィズ・ラボラトリーズ	医薬品・バイオテクノロジー・ライフサイエンス	2.8%
11	コグニザント・テクノロジー・ソリューションズ	ソフトウェア・サービス	2.8%
12	ルーラル・エレクトリフィケーション	各種金融	2.3%
13	マヒンドラ&マヒンドラ	自動車・自動車部品	2.3%
14	バーラト重電機	資本財	2.2%
15	リライアンス・インダストリーズ	エネルギー	2.1%
組入銘柄数			65

* マザーファンドの組入比率です。組入比率には、各銘柄のADR、GDR、オプション証券等を含みます。

* 銘柄名は、情報サービス業者の表記を参考にHSBC投信が翻訳したものであり、発行体の公式な和文名称と異なる場合があります。

為替の推移(ルピー/円) <設定日(2004年11月30日)~2010年9月3日>



出所: 投資信託協会

マーケットコメント

今週のインド株式市場は、4-6月期の実質GDP(国内総生産)成長率が引き続き高成長となったことや、外部環境の好転などが好感され、SENSEX30指数は前週末比+1.2%の18,221.4と反発しました。セクター別ではインフラ、自動車が堅調で指数押し上げに寄与しました。自動車は、メーカー各社の8月の販売台数が公表され、最大手マルチ・スズキが前年同月比+23.6%、タタ・モーターズが同+32.4%となるなど好調を維持したことが各社の株価押し上げに寄与しました。

2010年4-6月期の実質GDP成長率は、1-3月の前年同期比+8.6%から加速し、同+8.8%と2年半振りの高い伸び率を記録、市場予想とほぼ一致しました。4-6月期のGDP統計は、一部の景気刺激策が打ち切られているにも拘わらず、インド経済が底堅く推移していることを裏付けるものとHSBCでは見ています。これは、1日(水)に発表された8月のHSBC製造業購買担当者指数(PMI)が前月の57.6から僅かに低下したものの、57.2と17ヶ月連続で50を上回ったことから窺われます。

GDP統計を部門別に見ると、農業が前年同期比+2.8%、サービス部門が同+9.7%と、各々前期の同+0.7%、同+8.4%から加速し、成長を牽引しました。

今期については、モンスーンの降雨量が回復傾向にあり、食品供給の改善に伴い、食品以外の品目に対する裁量的支出の拡大も見込まれること、歳入の増加を背景にインフラ投資などへの政府支出が加速する可能性が高いこと、また企業が生産能力を拡大し、製造業の伸びが加速すると見られること、などがGDPの更なる拡大に繋がるものと見ています。

HSBCでは、基調的なインフレ圧力は依然として強いものと判断、9月16日の金融政策レビューでは0.25%の利上げが行われる公算が高いと見ています。

設定・運用: HSBC投信株式会社

投資信託の基準価額は、組入れた証券の値動き(外国証券の場合は更に為替相場の変動)等の影響により上下しますので、これにより投資元本を割り込むおそれがあります。当資料のお取扱い、投資信託のお申込みについては、当資料内「当ファンドの主なリスク」、「留意点」、「当ファンドにかかる費用」等、および「投資信託説明書(交付目論見書)」を必ずご覧ください。

当ファンドの特色

インドの証券取引所に上場している株式に投資

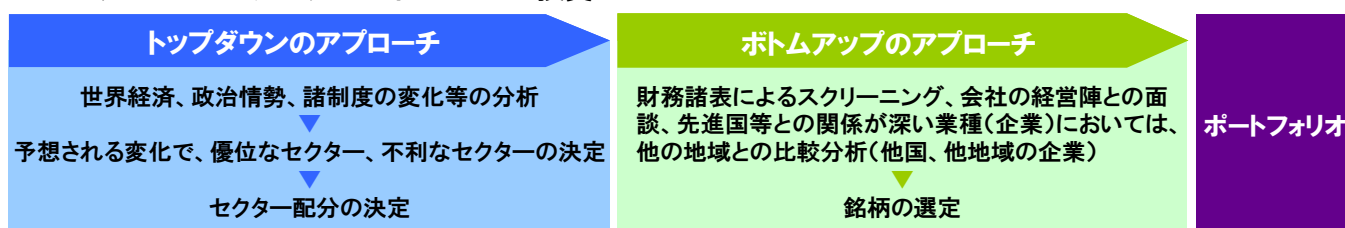
HSBC インド マザーファンド(「マザーファンド」といいます。)への投資を通じ、主としてインドの証券取引所に上場する株式を投資対象とします(その他の取引所または、取引所に準ずる市場で取引されている企業の株式等も投資対象とすることがあります。)

新興国市場の有価証券は一般的に先進国の有価証券と比較して値動きが大きいいため、基準価額の値動きも大きくなる傾向があります。

景気サイクルの分析(トップダウン)と企業分析(ボトムアップ)を併用した投資決定のプロセス

株価は企業の業績やマクロ経済の動向等様々な要因で変動します。そのため、HSBC投信が属するHSBCグローバル・アセット・マネジメントでは1つの投資決定方法に偏ることなく、景気サイクル等の分析(トップダウン)と徹底した企業分析(ボトムアップ)を併用しています。

HSBCグローバル・アセット・マネジメントの投資プロセス



ベンチマークはS&P/IFC Investable India※(円ベース)

S&P/IFC Investable India※(円ベース)をベンチマークとし、中長期的に当該インデックスを上回る投資成果をめざします。

※S&P/IFC Investable Indiaとは、非居住者がインド株式への投資を行うことを前提として、時価総額、流動性や非居住者に対する各種投資制限(個別株、業種等)等を考慮し算出された時価総額加重平均インデックスです。
ベンチマークは、同指数を委託会社が独自に円換算した数値を使っています。

運用はHalbis キャピタル・マネジメント(ホンコン)リミテッドが行います

- ▶ 運用委託契約に基づいて、Halbis キャピタル・マネジメント(ホンコン)リミテッドにマザーファンドの運用指図に関する権限を委託します。なお、Halbis キャピタル・マネジメント(ホンコン)リミテッドは、HSBCグローバル・アセット・マネジメント(シンガポール)リミテッドよりインド株式運用に関する投資助言を受けます。
- ▶ Halbis キャピタル・マネジメント(ホンコン)リミテッドは、HSBCグループの一員です。

外貨建資産については、原則として為替ヘッジは行いません

為替レートの変動により基準価額は変動します。投資対象資産の通貨に対し円高になった場合、基準価額が下落する要因となります。

ファミリーファンド方式で運用

ファミリーファンド方式とは投資者(受益者)の投資資金をベビーファンド(当ファンド)としてまとめ、その資金を主としてマザーファンドに投資することにより、実質的な運用を行う方式です(ベビーファンドがマザーファンドに投資する際のコストはかかりません。)

市況動向および資金動向等により、上記のような運用が行えない場合があります。

設定・運用:HSBC投信株式会社

投資信託の基準価額は、組入れた証券の値動き(外国証券の場合は更に為替相場の変動)等の影響により上下しますので、これにより投資元本を割り込むおそれがあります。当資料のお取扱い、投資信託のお申込みについては、当資料内「当ファンドの主なりスク」、「留意点」、「当ファンドにかかる費用」等、および「投資信託説明書(交付目論見書)」を必ずご覧ください。

HSBC インドオープン

追加型投信/海外/株式

当ファンドの主なリスク

当ファンドは実質的に外国株式を投資対象としています。当ファンドの基準価額は、実質的な組入株式の値動き、為替相場の変動等の影響により上下しますので、これにより投資元本を割り込むおそれがあります。以下は、当ファンド(マザーファンドを含みます。)に関する投資リスク(基準価額に影響を及ぼすリスク)の一部要約であり、すべてのリスクを網羅するものではありません。当ファンドのリスクの詳細につきましては「投資信託説明書(交付目論見書)」をご覧ください。

1 株価変動リスク

株価は、政治・経済情勢、発行企業の業績、市場の需給等を反映して変動します。株価は短期的または長期的に大きく下落することがあります。株式市場には株価の上昇と下落の波があり、これが繰り返される傾向にあります。現時点で価格が上昇傾向であっても、その傾向が今後も継続する保証はありません。

2 信用リスク

株式および債券等の有価証券の発行企業が経営不安、倒産等に陥った場合には、投資資金が回収できなくなる可能性があります。債券等への投資を行う場合には、発行体の債務不履行や支払遅延等が発生する場合があります。

3 為替変動リスク

外貨建資産の円換算価値は、当該外貨の円に対する為替レートの変動の影響を受けます。

4 流動性リスク

急激かつ多量の売買により市場が大きな影響を受けた場合、または市場を取り巻く外部環境に急激な変化があり、市場規模の縮小や市場の混乱が生じた場合等には、機動的に有価証券等を売買できないことがあります。

5 カントリーリスク

投資対象国・地域において、政治・経済情勢の変化等により市場に混乱が生じた場合、または資本取引等に関する規制の変更や新たな規制が設けられた場合には、投資方針に沿った運用が困難になることがあります。

6 投資対象国における税制変更に関するリスク

当ファンドは、マザーファンドを通じてインドの証券取引所に上場している株式を主要投資対象としており、インド株式等への投資部分に対しては、インドの税制に従って課税されます。インドにおいては非居住者による1年未満の保有有価証券の売買益に対してキャピタル・ゲイン課税が適用されております。将来、税率、課税方法の変更、および新たな税制が適用された場合には、基準価額に影響を与える可能性があります。

当ファンドのお申込みに関しては、上記のリスクをご理解いただき、投資の判断はお客様ご自身でなされますようお願い申し上げます。

留意点

当資料はHSBC投信株式会社が作成した販売用資料(販売会社固有情報部分を除きます。当該情報の詳細については販売会社にお問い合わせください。)です。当資料は信頼に足ると判断する情報に基づき作成しておりますが、情報の正確性、完全性を保証するものではありません。当資料の記載内容等は作成時点のものであり今後変更されることがあります。またデータ等は過去の実績を示したものであり将来の成果を示唆するものではありません。投資信託はリスクを含む商品であり、主に値動きのある有価証券(外国証券には為替リスクもあります。)に投資しますので、基準価額は組入有価証券の値動き、為替変動による影響を受けます。したがって元本が保証されるものではありません。投資信託の運用成果(損益)は全て投資者の皆様へ帰属します。投資信託は、預金または保険契約ではなく、預金保険機構または保険契約者保護機構の保護の対象ではありません。また登録金融機関でご購入の投資信託は投資者保護基金の保護の対象ではありません。お申込みに当たっては投資信託説明書(交付目論見書)および契約締結前交付書面(目論見書補完書面等)を必ずお受け取りの上、内容をご確認いただきご自身でご判断ください。

委託会社、その他関係法人

<p>委託会社 HSBC投信株式会社</p> <p>当ファンドの委託会社として、信託財産の運用指図等を行います。</p>	<p>投資顧問会社 (運用委託先) Halbis キャピタル・マネジメント(ホンコン)リミテッド</p> <p>委託会社よりマザーファンドの運用指図に関する権限の委託を受けて投資判断、発注を行います。なお、Halbis キャピタル・マネジメント(ホンコン)リミテッドは、HSBCグローバル・アセット・マネジメント(シンガポール)リミテッドよりインド株式運用についての投資助言を受けます。</p>
<p>受託会社 三菱UFJ信託銀行株式会社 (再信託受託会社: 日本マスタートラスト信託銀行株式会社)</p> <p>当ファンドの受託会社として、信託財産の保管、管理、計算、その他の付随業務等を行います。</p>	<p>販売会社※</p> <p>当ファンドの販売会社として、募集・販売の取扱い、換金申込の受付、収益分配金の再投資に関する事務、収益分配金、換金代金および償還金の支払等を行います。</p>

※ 販売会社固有情報(金融商品取引業者(登録番号)、加入協会等)については、当資料内「お申込み・投資信託説明書(交付目論見書)」のご請求はをご覧ください。販売会社は、投資信託説明書(交付目論見書)の提供場所になります。

照会先

HSBC投信株式会社

電話番号 03-3548-5690

ホームページ www.assetmanagement.hsbc.com/jp

(受付時間は営業日の午前9時~午後5時)

設定・運用:HSBC投信株式会社

HSBC インドオープン

追加型投信/海外/株式

お申込みに関する要項

お申込みメモ

信託期間	無期限(設定日:平成16年11月30日) なお、ファンドの残存口数が10億口を下回った場合等は、信託を終了させる場合があります。
購入単位	販売会社が個別に定める単位とします。「一般コース」と「自動けいぞく投資コース」の2つのコースがあります。購入単位、取扱いコースの有無および各コースの名称は販売会社によって異なります。
購入価額	購入申込受付日の翌営業日の基準価額
決算および収益分配	年1回の決算時(毎年11月29日、休業日の場合には翌営業日)に、収益分配方針に基づき分配します。ただし、分配対象額が少額の場合には分配を行わないことがあります。
換金単位	販売会社が個別に定める単位とします。
換金価額	換金申込受付日の翌営業日の基準価額
換金代金支払日	換金申込受付日から起算して5営業日目以降
課税関係	課税上は株式投資信託として取り扱われます。原則として、収益分配金、換金時および償還時の差益に対して課税されます。益金不算入制度、配当控除の適用はありません。
申込受付不可日	国内の営業日であっても、以下のいずれかの休場日に該当する場合には購入および換金の申込受付は行いません。 ・インドの証券取引所(ボンベイ証券取引所、ナショナル証券取引所) ・香港の証券取引所
申込締切時間	原則として、販売会社の営業日の午後3時までとします。締切時間を過ぎてのお申込みは、翌営業日の取扱いとなります。ただし、締切時間は販売会社によって異なる場合があります。

当ファンドにかかる費用

購入時に直接ご負担いただく費用

購入時手数料	購入金額(購入価額×購入口数)に3.675%(税抜3.5%)を上限として、販売会社が個別に定める手数料率を乗じて得た額
--------	---

換金時に直接ご負担いただく費用

信託財産留保額	ありません。
換金手数料	ありません。

投資信託の保有期間中に間接的にご負担いただく費用

運用管理費用(信託報酬)	純資産総額に対して年2.10%(税抜年2.00%)
その他費用・手数料	(1)有価証券売買委託手数料/外貨建資産の保管費用/借入金利息、融資枠設定に要する費用/信託財産に関する租税、信託事務処理に要する費用、受託会社が立替えた立替金利息等 (2)投資信託振替制度に係る手数料および費用/法定書類の作成、印刷、交付および届出に係る費用/当ファンドの受益者に対して行う公告に係る費用/法定書類の作成、印刷、交付に係る費用/監査報酬および法律顧問、税務顧問に対する報酬および費用等((2)の項目については純資産総額に対し上限年0.2%としてファンドより支払われます。) ※運用状況等により変動するため、事前に上限額等を表記できません。

※手数料等の費用総額については、投資者の皆様のファンドの保有期間に応じて異なるため、表記できません。詳しくは、投資信託説明書(交付目論見書)をご覧ください。

設定・運用:HSBC投信株式会社

金融商品取引業者 関東財務局長(金商)第308号 加入協会/(社)投資信託協会、(社)日本証券投資顧問業協会

投資信託の基準価額は、組入れた証券の値動き(外国証券の場合は更に為替相場の変動)等の影響により上下しますので、これにより投資元本を割り込むおそれがあります。当資料のお取扱い、投資信託のお申込みについては、当資料内「当ファンドの主なりスク」、「留意点」、「当ファンドにかかる費用」等、および「投資信託説明書(交付目論見書)」を必ずご覧ください。

HSBC インドオープン

追加型投信/海外/株式

お申込み・投資信託説明書(交付目論見書)のご請求は

(商号・金融商品取引業者の登録番号・加入協会の順に表示、証券・銀行・保険毎 五十音順、2010年9月6日現在)

金融商品取引業者名	金融商品取引業者	登録金融機関	登録番号	日本証券業協会	(社)日本証券投資顧問業協会	(社)金融先物取引業協会
安藤証券株式会社	○		東海財務局長(金商)第1号	○		○
飯田証券株式会社	○		関東財務局長(金商)第22号	○		
いちよし証券株式会社	○		関東財務局長(金商)第24号	○	○	
HSBC証券会社東京支店	○		関東財務局長(金商)第212号	○		○
エース証券株式会社	○		近畿財務局長(金商)第6号	○	○	
株式会社SBI証券	○		関東財務局長(金商)第44号	○		○
岡三オンライン証券株式会社	○		関東財務局長(金商)第52号	○		○
岡三証券株式会社	○		関東財務局長(金商)第53号	○		
香川証券株式会社	○		四国財務局長(金商)第3号	○		
キャピタル・パートナーズ証券株式会社	○		関東財務局長(金商)第62号	○		
極東証券株式会社	○		関東財務局長(金商)第65号	○		
クレディ・スイス証券株式会社	○		関東財務局長(金商)第66号	○	○	○
光世証券株式会社	○		近畿財務局長(金商)第14号	○		
コスモ証券株式会社	○		近畿財務局長(金商)第15号	○	○	○
篠山証券株式会社	○		近畿財務局長(金商)第16号	○		
静銀ティーエム証券株式会社	○		東海財務局長(金商)第10号	○		
株式会社証券ジャパン	○		関東財務局長(金商)第170号	○		
高木証券株式会社	○		近畿財務局長(金商)第20号	○		
中央証券株式会社	○		関東財務局長(金商)第114号	○		
中銀証券株式会社	○		中国財務局長(金商)第6号	○		
東海東京証券株式会社	○		東海財務局長(金商)第140号	○		○
内藤証券株式会社	○		近畿財務局長(金商)第24号	○		○
成瀬証券株式会社	○		関東財務局長(金商)第127号	○		
新潟証券株式会社	○		関東財務局長(金商)第128号	○		
日興コーディアル証券株式会社	○		関東財務局長(金商)第2251号	○	○	○
のぞみ証券株式会社	○		関東財務局長(金商)第141号	○		
野村証券株式会社	○		関東財務局長(金商)第142号	○	○	○
浜銀TT証券株式会社	○		関東財務局長(金商)第1977号	○		
播陽証券株式会社	○		近畿財務局長(金商)第29号	○		
百五証券株式会社	○		東海財務局長(金商)第134号	○		
ひろぎんウツミ屋証券株式会社	○		中国財務局長(金商)第20号	○		○
フィデリティ証券株式会社	○		関東財務局長(金商)第152号	○		
マネックス証券株式会社	○		関東財務局長(金商)第165号	○		○
丸八証券株式会社	○		東海財務局長(金商)第20号	○		
明和証券株式会社	○		関東財務局長(金商)第185号	○		
山和証券株式会社	○		関東財務局長(金商)第190号	○		
UBS証券会社 東京支店	○		関東財務局長(金商)第232号	○		○
楽天証券株式会社	○		関東財務局長(金商)第195号	○		○
リテラ・クリア証券株式会社(インターネットのみ)	○		関東財務局長(金商)第199号	○		○
株式会社秋田銀行		○	東北財務局長(登金)第2号	○		
株式会社池田泉州銀行		○	近畿財務局長(登金)第6号	○		○
株式会社伊予銀行		○	四国財務局長(登金)第2号	○		○
オーストラリア・アンド・ニュージーランド・バンキング・グループ・リミテッド(銀行)		○	関東財務局長(登金)第622号	○		
株式会社京都銀行		○	近畿財務局長(登金)第10号	○		○
京都信用金庫		○	近畿財務局長(登金)第52号	○		
株式会社熊本ファミリー銀行		○	九州財務局長(登金)第6号	○		
株式会社群馬銀行		○	関東財務局長(登金)第46号	○		○
株式会社西京銀行		○	中国財務局長(登金)第7号	○		
株式会社山陰合同銀行		○	中国財務局長(登金)第1号	○		
株式会社滋賀銀行		○	近畿財務局長(登金)第11号	○		○

*現在、野村証券株式会社では新規のお取扱いをしております。

設定・運用:HSBC投信株式会社

投資信託の基準価額は、組入れた証券の値動き(外国証券の場合は更に為替相場の変動)等の影響により上下しますので、これにより投資元本を割り込むおそれがあります。当資料のお取扱い、投資信託のお申込みについては、当資料内「当ファンドの主なリスク」、「留意点」、「当ファンドにかかる費用」等、および「投資信託説明書(交付目論見書)」を必ずご覧ください。

